



8 本震直後、避難者であふれる菊陽町役場。この日は熊本県全体で18万3千人以上が近くの公共機関やグラウンドなどに避難して眠れぬ夜を過ごした  
 9 けが人を懸命に救護する町の保健師  
 10 いたる所で道路の地割れが発生した  
 11 外壁が崩れトイレがむき出しの家屋  
 12 13 陸上自衛隊による給水に長蛇の列  
 14 全国から届く支援物資(以上菊陽町)  
 15 約20万冊の蔵書の多くが飛び出し床一面に散乱した合志市立西合志図書館  
 16 棚が倒れ雑然とした役所内。防災の拠点である役所も大規模災害では被害を受ける。熊本県内では宇土市、八代市、大津町、益城町、人吉市の役所が倒壊の危険により使用不能になった  
 17 石灯籠が崩れ鳥居が崩壊した神社  
 18 県内のあらゆる所に設置されたがれきや災害ごみの仮置き場(以上合志市)

※写真は( )の自治体にご提供いただきました。

1 特に被害が大きかった益城町。地盤が崩壊して倒れた電柱と高圧発電機車  
 2 2階部分がつぶれた建物 3 家屋倒壊で多くの命が奪われた(以上益城町)  
 4 最大震度6強を観測した菊池市では住宅の38棟が全壊、220棟が半壊(5月23日付)という甚大な被害を受けた  
 5 地盤沈下が発生したグラウンド  
 6 7 土砂崩れや落石により、山間部では通行止めが多数発生(以上菊池市)

福智町をとおして寄せられた  
 義援金の総額(6月23日現在)

1,498,803円

※ 役場本庁、各支所、各公民館、方城診療所、コスモス保健センターに設置しています。



↑ 町内企業からの物資支援 ↑ 企業と町が共同で食糧支援 ↑ 金田中学生徒会発案の募金

被災地のニーズの把握を 朝部 雄介さん(伊方)

自分の思いを自分で届けたいと強く思い、募金と物資を集めて、4月23日に阿蘇市に届けました。被災地で必要なものは刻々と変わっていくことを聞いていたので、知人などから現地の情報を収集。行政も混乱している中、支援する際に被災地に迷惑をかけないこと、何が求められているかを把握することが最も重要だと思います。

過ぎ、翌朝、さらに衝撃的な光景を目にしました。全壊した近所の商店、道に広がった崩れた外壁…。見慣れた街並みが一晩にして変わってしまったショックは、相当なものだったといえます。  
 避難後も熊本を常に気にかけ、福岡市内での被災地支援ボランティアに参加。「多くの人が熊本を支えてくれていることを知り、胸が熱くなりました。自分の無力さに悩んだ日もありましたが、今後は復興に向け、今自分に何ができるかを考えて行動していきます」と笑顔を見せました。

被災地の映像を見ると「何か助けになりたい」と思いながら「何もできない」「自分は普通に暮らして申し訳ない」と胸を痛める人もいるかもしれません。ですが、たとえ現地に行けなくても、募金や現地産の物を購入することはできます。通常通りの暮らしで九州を元気にすること、災害の教訓を伝えることも大切な役目。それぞれの立場でできること、考えてみませんか。

被災地支援続々  
 今、自分にできること

「まさかの出来事」は突然やってくる――

災害発生、その時。

安全だと思われていた九州を立て続けに襲った震度7の大地震。4月14日以降、震度4以上の揺れは110回に達し、6月中も震度5弱の地震が熊本で発生。今なお余談を許さない状況が続いている。自然災害の脅威を知り、今わたしたちがすべきことを考える。

※ 6月26日現在。震度1以上は1800回以上。

「まさか」と感じて逃げられないこと」を痛感したため、ちようど自分の部屋にも身を守るスペースを確保したばかりだったそうです。「一刻も早く避難しよう」と思いつつ、真夜中の大地震では停電で視覚から情報が入ってこないこと、通常通りの行動が全くできないことに恐怖を感じました。  
 なんとか外に出ると、すでに多くの人が避難所に向かって歩いていました。深夜の住宅街の人の波、その横で信号が消えた道を猛スピードで走る車…。徐々に異常な事態を認識していききました。  
 「避難所は悲壮感に覆われていました。友達といつも通りに振る舞おうとしても、その間も余震は続いて不安は拭い切れず、恐怖のあまり涙を流す人もいました」と井上さん。眠れない一夜を

Interview  
 熊本大学大学院(熊本市中央区)に在学する井上琢視さん(金田出身)に地震発生時の状況をお聞きしました。



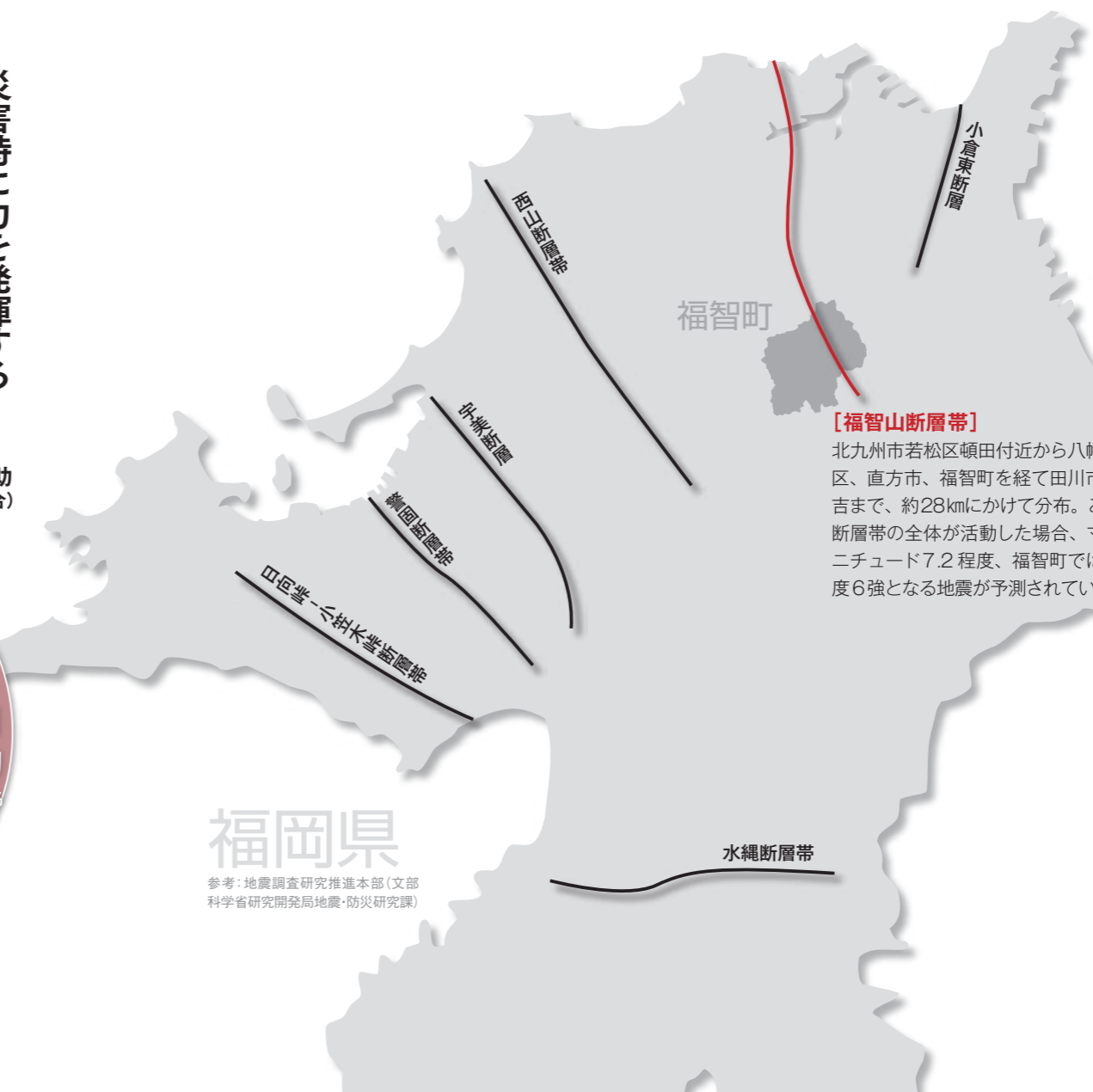
# 想定外を想定する。

油断禁物、もはや地震の空白地神話は無い

世界で起こる地震の約10分の1が日本周辺で発生する。そんな地震列島日本で暮らす限り「安全地帯」は存在しない。実際、福智町にも地震を引き起こす活断層が走っている。今まで偶然起きていないだけで、決して安心はできないのだ。

## 【福智山断層帯】

北九州市若松区頓田付近から八幡西区、直方市、福智町を経て田川市夏吉まで、約28kmにかけて分布。この断層帯の全体が活動した場合、マグニチュード7.2程度、福智町では震度6強となる地震が予測されている。



## 福岡県

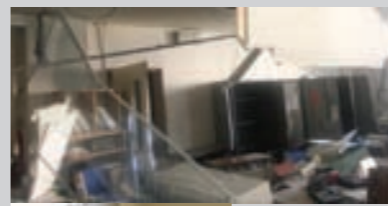
参考：地震調査研究推進本部（文部科学省研究開発局地震・防災研究課）

**日** 本は活断層のぎつしり詰まった上に乗っているようなものです。阪神・淡路大震災や今回の熊本地震も、内陸の活断層が原因の直下型地震。これは局地的に激震を起こすのが特徴です。福岡県にも多くの活断層、断層帯があります。福智町の真下を走る福智山断層はもちろん、他の活断層で地震が発生した場合も、福智町内では震度6弱〜6強の揺れが起こると予測されています。

国の地震調査研究推進本部が示す福智山断層帯の30年以内の地震発生確率は0〜3%。一見安心しそうな数字ですが、直下型地震は周期を予測できない地震。阪神・淡路大震災の発生時、地震発生確率は「0.02〜8%」だったといわれています。自然災害は人の力では食い止められませんが、起こりうる災害を想定し、備えることは可能です。あなたの備え、大丈夫ですか。

## 大規模災害の時にあなたを助けてくれるのは？

**「防**災は消防や行政がやるべき」という依存型の人も少なくありません。しかし大災害では被害が同時多発し、交通網をはじめライフラインが寸断されます。災害の規模が大きくなればなるほど、消防や行政の機能は混乱。一方で支援を必要とする人は多くなるため、行政の手が回らなくなることも想定できます。

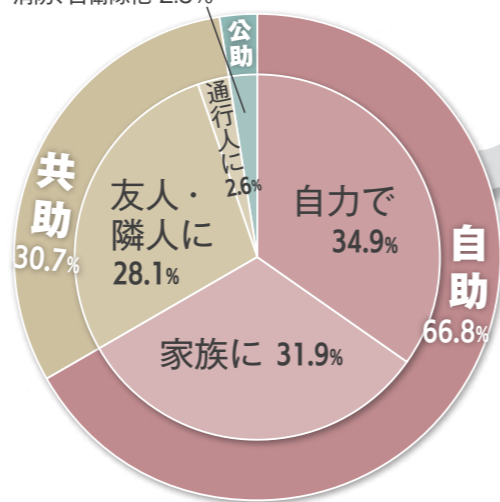


役場自体が被災し、庁舎の使用ができなくなるケースも…（熊本県大津町）

## 災害時に力を発揮する地域のつながり

震災で家屋の下敷きになってしまった場合、救助までの経過時間が生死を分けます。下のグラフは、阪神・淡路大震災で下敷きになった人が誰に助けられたかを示すもの。「自力で・家族に」「友人・隣人・通行人に」が大半を占め、大規模災害では公助に限界があることが分かります。

## 阪神・淡路大震災で下敷きになった人の救助 (割合)



高齢者や障がい者など、自力での避難が難しい「要支援者」の居場所も地図に表示し、災害や緊急時に活用。

災害や急病、火事などの緊急時に救急車や自家用車などが通れるか、道幅もあらかじめチェック。

現状は安全でも、災害時に被害が拡大しそうな場所まで細かく注意。写真なども添付し、わかりやすく掲示。

地域住民が連携して防災活動を行う「自主防災組織」が全国的に見直されています。組織率は、福岡県全体で91.8%。福智町では23.4%です。日ごろから「何かあったら助け合おう」という人が多い地域は災害にも強い地域。いざという時にあなたの命を救うのは、お隣さんかもしれません。

【防災ちず】地域の人たちが集まって災害発生を想定し、危険が予測される場所や避難経路、必要な行動などを自ら考え、地図に書き込んで情報を共有する防災訓練の一つ。地域のつながりの強化、自衛意識の向上に役立ちます。



※この地図は見本です。実際の地図とは異なります。



↑5月12日に東ヶ丘地区のふれあい交流のメンバー15人が中心となり、地域の防災ちずを作成しました。

## 防災ちず作成手順



Step.1 作成準備



Step.2 事前協議



Step.3 被災予想



Step.4 情報深化

災害の種類・時間・天候も考慮し、避難できる建物や広場に印をつけて、災害時の集合場所に設定。

## 「助けて」と声を出せる関係づくりを

福智町内でも、地域ごとに防災ちずを作成したり、さまざまな災害を想定した避難訓練を実施している地域があります。こうした防災活動による自衛意識の向上、情報共有はもちろん大切ですが、最も重要なのは日ごろから地域の集まりに参加し、声を掛け合う関係をつくることです。

昨年、町では「避難行動要支援者制度」をスタート。災害時に助けが必要な人を把握する制度です。万が一の時、できることは自分の手で。しかし、一人ではできないことには限界があります。「助けて」と言えないのが日本人の特性。周囲に助けを求め、助けを受け入れられる関係を築きましょう。



↑6月20日、矢久保地区のふれあい交流では社会福祉協議会の職員による防災学習会が行われました。

## 前兆を見逃さないで 土砂災害を回避する

**急斜面が崩れ落ちる災害**

**がけ崩れの前兆**

- ▶ 斜面から水がわき出す
- ▶ 小石がバラバラと落下する
- ▶ 斜面がふくらむ
- ▶ 斜面に裂け目ができる

**地層が滑り落ちる災害**

**地滑りの前兆**

- ▶ 急に水がわき出す
- ▶ 山腹に亀裂や段差が生じる
- ▶ 地鳴りがする
- ▶ 池や沼の水位が急変する

**大量の水と土砂が流れる災害**

**土石流の前兆**

- ▶ 渓流の水が急に減る
- ▶ 渓流内で石が転がる音がする
- ▶ 川の水が急激に濁る
- ▶ 木が流れてくる



平成21年7月24日から26日にかけて降り続いた「中国・九州北部豪雨」で、5人が生き埋めとなり、うち1人の尊い命を失った上弁城地区の土砂災害。福智町で二度とこのような被害を出すことのないよう、わたしたちは災害の教訓を決して忘れてはいけません。

【表紙の答え】問1. b…耐震強度の低い建物内や頭を隠す場所が無い場合など、外に出た方がよいケースもあります。  
問2. b…イノシシの最高速度(40~50km/h)と同程度です。  
問3. a…金田分館、金田小学校は避難所になっていません。



## 福智町防災講演会開催

福智町防災の日である7月24日に、地域交流センターで「防災講演会」を開催します。講師の藤澤健児さん(社団法人九州防災パートナーズ代表理事)が今回の熊本地震をふまえて、緊急地震速報が出た時にどうすべきかなどをお話します。  
 図 総務課 消防防災係 ☎ 22-0555

**忘れない7・24  
災害から何を学ぶか**

自然災害の多い日本では、昔から多くの命が災害によって奪われてきました。熊本地震での死者・行方不明者は50人。他に20人が関連死とされています。災害発生時に適切な対策や行動がとれれば、命をつなぐ確率は上がります。尊い命の犠牲を無駄にしないため、今を生きるわたしたちは先人の教訓を生かし、今後起こりうる災害の被害を最小限に抑える必要があるのではないのでしょうか。

7年前の7月、福智町でも土砂災害の人的被害がありました。この災害を風化させず次代へつなぐよう、町では7月24日を「福智

町防災の日」と制定しています。災害が起きてからでは間に合いません。しかし災害が起きる前の今なら、どう行動すべきか確認したり話し合うことは可能。防災への意識を持つて「どうすれば助かるか」を一人ひとりが考えることができれば、きっと災害に強いまちになるはずです。

→昨年7月に上弁城集会所に建立した「福智町防災の日を定める碑」。



## 自主避難所

災害発生の恐れがあり、住民が自主的に避難する場合、一時的に居住する施設。

- 福智町役場
- 中央公民館
- 公民館方城分館

## 福祉避難所

体の不自由な人を優先する施設。

- コスモス保健センター

## 避難勧告・避難指示時の避難所

避難勧告や避難指示がなされた場合、住民が一時的に居住する施設。

- 金田体育センター
- 方城中学校
- ふれあい塾
- やすらぎ館
- 金田中学校
- 弁城小学校
- 方城保健センター
- 大浦隣保館
- ふれあい館
- 上野小学校
- 方城体育館
- 市場小学校
- 中央保育所
- 赤池中学校
- 伊方小学校



昨年5月、全世帯に配布された防災ハンドブックには、大雨時の危険箇所や土砂災害警戒区域、避難場所などの情報を細かく確認できるハザードマップが付属。必要なかたは役場総務課で入手するか、福智町公式ホームページでもご覧になれます。

# 最悪を想定すれば、最善の対策が見えてくる—— 死なないための備え。

自然災害による被害を最小限に食い止めるためには、災害前の今、災害時の想定をどれだけできるかにかかっている。自らの命、そして大切な人の命を救うために考えて欲しい。災害の瞬間、自分の身を守る最大の味方は自分自身だから。

**地** 震の揺れで命を落とすこととはありません。阪神・淡路大震災では83.3%の人が建物や家具の下敷きになって命を失いました。大地震では、タンスなどの重い家具も簡単に倒れます。地震が起きたらまずは「物が倒れる」「落ちてくる」ことを考え、第一に頭を守ること。そして安全な場所へ避難することです。

地震で亡くなった人が今話せたとしたら「防災グッズが大切」などと言うでしょうか。防災グッズが役に立つのは「死なない」ことが大前提。地震では、まず圧

死しない備えが重要です。自分が助からなければ、人を助けることもできません。

平時にどれだけ知識を身に付けても、災害時に実際にできることは大きく異なります。今できることは後回しにせず、すぐに対応。この少しの行動が後に命運を大きく左右するはずですよ。

**消** 防団は常に行政と連携をとって、地域の安全、安心のために防災活動に尽力しています。しかし、災害は突発的に発生するもの。消防団が到着するまでに命をつなぐのは、みなさん一人ひとりです。どうか防災への「意識」と「備え」を忘れないでください。

地震には家具の固定が有効。就寝場所は家具の高さ分離るか家具の側面に。出入口付近の避難路も確保します。